

## 「研究紀要」発刊に寄せて

山梨県総合教育センター  
所長 飯島清樹

令和5年度山梨県総合教育センター「研究紀要」が発刊の運びとなりました。

令和の時代に入り、将来を予測するのが困難な状態が続く時代になりました。社会的課題はもちろんですが、学校における課題も多岐にわたり複雑化してきています。今年度本センターにおいては、「新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援～求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方～」という研究テーマを掲げ、学校現場が抱える様々な教育課題を解決するために、各研究推進校が行っている校内研究を本センターが支援し、協同で研究を進めるという形で取り組んでまいりました。具体的には、「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「教育相談」「特別支援教育」「教育支援」の五つの研究領域において、研究推進校五校の協力のもと、七つの研究を進めてまいりました。

本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、教職員の資質能力の向上、学校教育における課題解決に向け、関係機関と綿密な連携を図りながら、研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進しております。今年度、新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、各学校とも教育活動が戻りつつあり、研究推進校におかれましても精力的に研究を進めていただきました。山梨大学のアドバイザーの先生方をはじめ関係機関の先生方には、積極的な学校訪問の実施により直接的な指導をしていただき、現場の先生方にとっては専門的なアドバイスにどれだけ励まされたことか、この場を借りて感謝申し上げます。

各研究内容の詳細につきましては、各頁を御覧いただくとして、例えば、「授業づくり」一つとっても、「GIGA スクール構想」による1人1台端末の実現によって、子供たちに対する指導が広がり、どの場面で何を指導するのか、どのようなことを支援するのか、いくつもの視点が必要になってきました。あるいは、自立的に学習する子供たちの姿が教師の思惑を超え、プラスの波及効果をもたらすこともあります。さまざまな広がりをはらむこれからの教育活動において、この研究紀要が先生方の日々の活動の一助として活用され、また研究推進校とセンターとの協同の研究の成果が、県下の多くの先生方に共有され、県内各学校の教育がさらに充実していくことを願っています。

結びに、多忙な業務のなか、校内研究を推進するとともに御協力いただきました研究推進校の皆様、専門的立場から御指導をいただきました山梨大学の先生方をはじめとする関係機関の皆様に改めまして御礼を申し上げ、発刊にあたってのあいさつといたします。